

梨晩霜害対策講習会

5月26日(水)、梨の現地講習会が潟上市天
王の園地で開かれました。天王地区の生産者
ら約30名が参加し、今年度の生育状態を確認
したほか、晩霜害への対策として今後の管理方
法などを学びました。

県果樹試験場天王分場の担当者が新梢の誘
引方法や摘心位置などを、実際に作業しなが
ら説明しました。男鹿地区営農センターの梨
担当職員は「他産地でも晩霜の被害が多く、全
国的に梨の量が少ない傾向。今ある梨を大事
に管理して、出荷してほしい」と話しました。
参加者は梨の生育を観察しながら、効率的
な作業方法などについて話し合いました。

枝の管理方法を学ぶ生産者



花き部会男鹿支部が秋田生花(株)を視察

管内産の花きの主力品目である菊の出荷が
始まり、花き部会男鹿支部の支部長らが6月
4日(金)、秋田市中央卸売市場内の秋田生花
(株)を視察しました。

今年度における当丁A産の菊の生育状況をは
じめ、他産地の販売状況や輸入の動向、需要など
について、市場の担当者と情報を交換しました。
実際にせりが行われる会場も見学し、当丁A産
の花きがせりにかかる様子が見られました。

今年度における同支部の花きの目標出荷数
量は456万本で、2億1600万円の販売を
目指しています。菊類では、5月19日(水)の小
菊を皮切りに出荷が始まっています。

秋田市中央卸売市場で
行われたせりの様子



NEWS & TOPICS

大豆播種研修会

6月8日(火)、当丁A大豆部会の播種研修
会が秋田市下新城で行われました。秋田市内
の生産者や関係者ら20名が、播種作業の注意
点や今後の管理方法、大豆の販売状況や需要
動向などを学びました。加藤精務部会長が播
種作業を実演し、参加者は作業手順や水管理
などについて意見を交わしました。

秋田地域振興局農業振興普及課からは県
内の圃場で昨年QOI剤(アゾキシストロピ
ン)の耐性菌が確認された話題が上がり、QO
I剤を使用しても防除効果が十分に発揮さ
れない可能性があるため、QOI剤耐性紫斑
病に注意するよう呼び掛けられました。

播種作業の実演を見る参加者



地域団体へ花苗8000株を供給

6月10日(木)に青果物北流通センターで、
11日(金)には四ツ小屋低温倉庫で、事前に申
し込みのあった町内会や市民サービスセンタ
ー、小学校など77団体へ、マリーゴールドやサ
ルビア、ペゴニアなどの苗約8000株の引き
渡しが行われました。

色鮮やかな花が並んだ会場で、生産者やJ
A職員が各団体の担当者の手に苗を積み込み
ました。引き渡した苗は各団体が花壇などに移
植し、地域の景観づくりに役立てられています。
受け取った団体の担当者は「きれいな花で
すね」いつもありがとうございます。またよ
ろしくお願ひします」と話していました。

花苗を積み込む生産者

